

4. 観光立町実現に向けた施策

1) 施策の体系

(1) 施策の体系

- ・将来像と理念から、政策課題、施策の骨格、主導施策および、ゾーン別の施策全体を表す施策体系図を示す。
- ・主導施策は、施策の骨格の中で、特に重要で象徴的な取組みである。予算措置への配慮も含め、施策実行のために、行政はもとより、観光関係者、住民等関係者が最大限の努力をすべきものと位置づける。
- ・実施内容は、毎年行う、3年先を見越したローリング作業によって調整を行い、目標達成を前提に随時内容の見直しを行うこととする。

将来像 (狙い)	場所のイメージ : 様々な場所で、富士山と湖を色々な見方で楽しめる、自然と文化を背景とした“美しく魅力的な風景を楽しめるまち(美しく、一度は訪れたいまち)” 人のイメージ : まちの人が誇りを持って、訪れ滞る人たちを温かく迎え入れ、来訪者も繰り返し訪れ、お互いにふれあう機会が豊富な“人が魅力の交流滞在型のまち(何度でも訪れたいまち)” 楽しみのイメージ : 富士山と湖の風景を随所で楽しむと同時に“多様な滞在環境や多様な滞在プログラムを楽しめるまち(できるだけ長く滞在したいまち)”
---------------------	--

理念

富士山と湖の自然と歴史・文化を風景として溶け込ませる魅力的な観光まちづくり
 ~ 住民一人一人が楽しんで参画する観光まちづくり ~



(2) 政策課題別の測定指標

・施策課題別にその達成度を測る指標を以下のように設定する。

政策課題	施策の骨格	個別指標	定義
1) 住民の暮らしと観光が結びついたまちづくり	(01) まちづくりと観光に関わる人材の育成	<1> 町立観光施設における町民利用者数の増加 (H20年 7,227人 H25年 8,000人<10.7%増> H30年 9,000人<24.5%増>) <2> 観光まちづくり関係団体会員数の増加 (H20年 526人 H25年度 650人<23.6%増> H30年度 800人<52.1%増>)	*1 町立観光施設 河口湖美術館 河口湖ミュージアム 西湖いやしの里根場 *2 観光まちづくり関係団体 観光まちづくり推進会議 ネイチャーガイド協議会 ふるさとガイドの会 ウェルカム富士 国際交流協会 ステラサポーター 美術館協力員 いやしの里協力員 H20年12月現在
	(02) 住民の観光意識の向上と接遇向上		
	(03) 住民参画の促進		
	(04) 国際交流の推進		
2) 観光交流を活かした産業・文化の振興	(05) 観光交流を活かした農林漁業の振興	<3> 農産物直売所における農産物販売額の増加 (H20年 1,154万円 H25年 1,300万円<12.7%増> H30年 1,500万円<30%増>) <4> 観光客アンケートにおける『飲食施設満足度』の向上 (H20年 60.2% H25年 65% H30年 75%)	*3 農産物直売所 JA北富士物産館 道の駅かつやま H20年12月現在
	(06) 観光交流を活かした街のにぎわいづくり		
	(07) 観光交流を活かした魅力的な食文化の創造		
	(08) 観光交流を活かした文化・芸術・体育の振興		
3) エコツーリズム(持続可能な観光)の推進	(09) 自然環境の保全と活用	<5> 富士河口湖町公認ネイチャーガイドツアー利用者数の増加 (H20年 15,511人 H25年 20,000人<28.9%増> H30年 25,000人<61.2%増>)	
	(10) 地域資源の発掘・活用		
4) 都市的生活基盤の高度化	(11) 良好な景観整備(風景づくり)	<6> 観光活性化標識ガイドラインに準拠した標識類の設置基数の増加 (H19年度 59基 H25年度 140基<137.3%増> H30年度 160基<171.2%増>)	
	(12) 交通基盤の充実		
5) 観光・リゾート滞在プログラムの充実	(13) イベントの充実	<7> イベント来場者数の増加 (H20年 815千人 H25年 900千人<10.4%増> H30年 1,000千人<22.7%増>) <8> 1回の旅行あたりの富士河口湖町での宿泊数 (H20年 1.4泊 H25年 1.6泊 H30年 1.8泊)	*4 イベント: 山梨県観光客動態調査に報告しているイベント 冬花火・湖上の舞 ハーブフェスティバル 紅葉まつり 等 20 催事 H20年12月現在
	(14) 地域資源を活かした滞在プログラムの充実		

政策課題	施策の骨格	個別指標	定義
6) 観光競争力の強化	(15)自然との触れ合い環境の充実	<9>富士河口湖観光総合案内所の来所外国人数の増加 (H20 年 19,692 人 H25 年 22,000 人<11.7%増> H30 年 25,000 人<27.0%増>) <10>宿泊者数の増加：全体目標 (H19 年 2,288,470 人 H25 年 2,450,000 人 H30 年 2,600,000 人)	
	(16)国際観光対応の充実		
	(17)観光産業の競争力強化		
	(18)観光情報提供体制の強化		
	(19)旅行者の安全・安心の確保		
(20)ユニバーサル観光の推進			
7) 誘致対象に向けた的確なプロモーション	(21)近距離市場に向けたリピート滞在利用促進プロモーション	<8>再掲 1 回の旅行あたりの富士河口湖町での宿泊日数 (H20 年 1.4 泊 H25 年 1.6 泊 H30 年 1.8 泊)	
	(22)中長距離市場に向けた周遊利用促進プロモーション	<11> 富士河口湖町へのリピート回数 (H20 年 3.5 回 H25 年 4.0 回 H30 年 4.5 回)	
8) 外国人観光客の来訪促進	(23)特定地域からの来訪促進	<12>外国人宿泊者数の増加：全体目標 (H19 年 187,662 人 H25 年 210,000 人 H30 年 250,000 人)	
	(24)訪日を確実に富士河口湖来訪に繋げる		
9) 広域連携の推進	(25)富士五湖地域の結びつき強化	<13>通年高速バス路線の増加 (H20 年 5 路線 H25 年 7 路線 H30 年 10 路線)	*5 通年高速バス路線 新宿富士五湖線、東京河口湖線、横浜河口湖線、新松田河口湖線、大阪富士吉田線名古屋、静岡、三島、さいたまの各線は現状では季節運行 H20 年 12 月現在
	(26)観光地・都市間の結びつき強化		